

受験学年スタート!

進路指導主事 橋本 雅文

部活動引退&学校祭までの過ごし方 部活動を引退し、学習時間を増やせるまでは、受験勉強の「助走期間」である。助走期間は3年生といえども、勉強期間は1・2年生の時と変わらないだろう。家庭学習時間が変わらないなかで、注意する点をあげると…

1. 授業を大切に

「予習→授業→復習」のサイクルを守って授業を活用できているだろうか。3年生の授業は入試に直結している。今まで以上に授業を大切に、授業に合わせて受験勉強を進めることで、毎日の学習も充実するはずである。また、疑問点は先生に質問する、定期考査を勉強のペースメーカーにすることも忘れずに。

2. 受験生活のリズムを早くつくる

部活動引退後、直ぐに受験態勢に切り替えるためには生活のリズムが確立していることが必要である。そこで次のことに注意し、生活のリズムを確立しよう。

☆ 起床 入浴 就寝時間を固定し、規則正しい生活をする

受験勉強はマラソンと同じで長期戦である。一定の睡眠時間を確保することで集中力も高まり、効率のよい学習ができる。受験の世界では12時に就寝し6時に起床する「12-6」あるいは10時に就寝し4時に起きて学習する「10-4」がよいと言われている。

3. 余裕をもった計画を立てる

計画通り出来ないからと、計画を立て学習することをしない人がいるが、無計画では得意(or 好き)な科目に学習時間が偏り、不得意科目をあまり勉強しなくなる。これでは受験は戦えない。週単位、月単位でもいいから計画を立てよう。また、細かく計画を立てる人は、休日を使って立て直すことができるように、余裕を持たせておこう。参考までに、部活動引退後の学習時間の目標は 平日 5~6時間 休日 8~10時間

4. 自分の学習ペースを確認しておこう

この1年間スムーズに受験勉強を進めるために、各教科で最初に取り組む参考書を決めておき、かつその参考書を1時間でどれくらい進められるのか、自分のペースを掴んでおくこと。このペースがわかっていると、焦らず、自分のペースで受験勉強を進められる。また、無茶な計画を立てることもなくなる。

5. 学習の環境を整えよう

- その1: 勉強の妨げになるTV・ゲーム・漫画を片づける
- その2: 勉強中は携帯電話を切る
- その3: 図書室・自習室など集めるスペースを確保する

6. 時間をつくる努力

大学受験は勉強する分量も多く、内容も濃い。とにかく時間が足りない。集中力を高めるとともに、学習時間を増やす必要がある。そのためには、生活を見直し、今からスキマ時間を活用しよう。机の前で勉強するだけが、受験勉強ではない。通学路上、様々な待ち時間等のスキマ時間を活用すれば、多くのことができる。

7. 受験勉強は重ね塗り

受験勉強は「理解(インプット)」→「演習(アウトプット)」の繰り返しである。理解し、1回演習するだけでは定着しないし、受験で得点できるものにはならない。ここが高校入試と大学入試の違うところである。1冊の参考書・問題集を2~3回繰り返すことが大切。

8. 4&5月の勉強のポイント

- (1) 英数国の基礎力養成
- (2) 理科(理系)・地歴公民(文系)の1科目は受験勉強をスタート!

進路情報誌を活用せよ!!

3年生の各クラスに1冊、進路情報月刊誌『蛭雪時代4月号』が配布されました。もう読みましたか? 4月号では、『志望校突破全プラン』と題して「基礎力から得点力まで確実にする勉強」「情報を使いこなして王道を進む戦略」「自分を“受験生モード”にセットする環境」の3つを柱とした受験本番までの1年間の受験勉強を充実させるための方策が特集されています。『蛭雪時代』は、毎月配布されるので月ごとのタイムリーな受験情報をしっかりと把握して、受験を優位に進めていきましょう。君たちには、こうした情報誌を足掛かりとして、各自でさらなる情報収集を進めてゆく積極性・自主性が求められています。わからないことがあれば遠慮なく担任の先生や、進路指導担当の先生(主事:橋本、3学年進路:藤間・東海林・吉田・小林国)に質問してください。

*** 4~7月の進路関係行事予定 ****

月	日	曜	校内進路関係行事	模擬試験
4	9	火	課題テスト	
	15	月	二者面談(~19日)	
5	5	日		駿台:全国判定①/河合:全統マーク①
	12	日		河合塾:全統記述①
	16	木	夏期補習講座一覧揭示	
	18	土	保護者会	
	21	火	中間考査(~24日)	

*1.「模擬試験」欄の太字斜体は、学校参加の模試です。

*2. 外部模試申し込みの際、「駿台」と「河合塾」を間違えないように

十分に注意してください。

月	日	曜	校内進路関係行事	模擬試験
6	2	日		駿台:全国①
	8	土		ベネッセ:マーク
	17	月	二者面談(~21日)	
	22	土	卒業生との懇談会	
	29	土		ベネッセ:記述
7	上旬		夏期補習申込	
	上旬		『受験記』配布	
	下旬		進路講演会	
	21	日		駿台:全国マーク
	22	月	夏期補習Ⅰ期(~26日)	
	28	日		河合:全統マーク②
	29	月	夏期補習Ⅱ期(~8/2)	
上旬		夏季支部PTA		
中旬		小論文説明会		

進路コラム:近年の入試動向から① ~私立大の入学定員厳格化~

ここ数年、私立大学は合格者数を大幅に絞り込んでいます。これは文部科学省が、私立大学の定員超過抑制のため、私学助成不交付基準を厳格化しているためだといわれています(この政策のねらいとして、「地方創生」や「教育の質の改善」等があげられています)。8千人以上の大規模大学の場合、私学助成金が不交付となる入学定員充足率の基準は、1.10倍以上と厳格化されています。助成金の不交付は、私大の経営を直撃するので、私立大学側は入学者数が1.1倍の基準を超えないように合格者数を絞り込みます。そのため、合格者総数が年々減少し、入試競争率が上昇しています。早慶上理やGMARCHといった私立大学は、これまでも十分に難関でしたが、今後はさらにハードルが上がってゆくことを覚悟しなければなりません。